

介護認定業務のデジタル化 第 2 弾 を始めます

－介護認定審査会にペーパーレス会議システムを導入します－

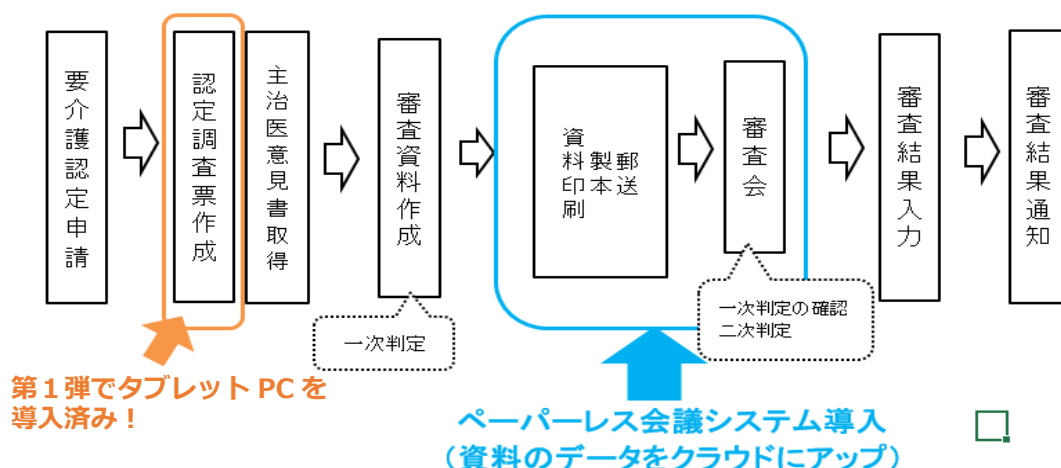
燕市は、今後見込まれる要介護認定者数の増加に対応するため、令和 5 年 11 月にタブレット PC を介護認定調査の現場に導入し、効率的な調査を行うなど、介護認定業務のデジタル化を推進してきました。そして、今年 10 月からは、介護認定業務のデジタル化第 2 弾として、介護認定審査会に「ペーパーレス会議システム」を導入します。

これにより、印刷・郵送等の時間と経費を削減できるほか、介護認定に要する期間も短縮され、市民の利便性向上にも繋がります。

なお、今年度は、一部の審査会から試行的にシステムを利用いただき、令和 8 年度には、完全ペーパーレス化を予定しています。

【介護認定審査会ペーパーレス会議システム導入の概要】

- 1.導入開始月：令和 7 年 10 月
- 2.導入システム：SideBooks（サイドブックス）クラウド本棚 ※燕市議会でも導入済
- 3.導入メリット：①紙資料の印刷と郵送にかかる作業時間・経費の削減
②会議直前でも資料追加が可能、急を要する審査に対応できる
③事前審査の結果をオンライン集計することで審査時間を短縮 など
- 4.介護認定の流れとシステム導入部分



- ① 審査資料の配布方法を「紙を郵送」から「データをクラウドにアップ」へ変更
- ② 委員が職場や自宅等の PC・タブレットでシステムにログインし、資料を確認。機器がない委員については、R8年度以降クロムブックを貸与。



本件についてのお問い合わせ先
 健康福祉部 長寿福祉課：込山、星野
 電話：0256-77-8177（直通）